

豊岡市記者配布資料

年月日	部 課 名	電 話	責 任 者 (役 職 名)
2024 年 9 月 13 日 (金)	城 崎 振 興 局 地 域 振 興 課	0796-21-9065 (内 線 5010)	橋 本 郁 夫 (課 参 事)

(件 名)

城崎温泉地区が「ひょうごユニバーサルな観光地」へ選出されました

(内 容)

高齢者・障害者などにより回遊性を高める「面」での取組みを促進するため、地域を挙げるユニバーサルツーリズムに積極的に取り組む観光地を支援する「ひょうごユニバーサルな観光地」として城崎温泉地域が選出されました。

今年度と来年度に渡って、補助金を活用しながらエリア計画に基づいた事業を推進していきます。

実施団体、取組み内容、事業費などの詳細は、別紙を参照してください。

《問合せ》城崎振興局地域振興課地域振興係(担当水谷)
TEL 21-9065(内線 5010)

城崎温泉地区が

「ひょうごユニバーサルな観光地」へ選出されました

1 ひょうごユニバーサルな観光地について

兵庫県では、年齢や障害の有無等にかかわらず、様々な方が気兼ねなく旅行できるユニバーサルツーリズムを推進するため、全国初となる「高齢者、障害者等が円滑に旅行することができる環境の整備に関する条例(通称:ユニバーサルツーリズム推進条例)」を制定しており、今年度は地域ぐるみの取組をモデル的に支援する事業を実施しています。

2 城崎温泉地域の取組み(エリア計画)について

すべての人がより楽しめる温泉街へ

城崎温泉を楽しんでいただくうえで欠かせないものが、「外湯めぐり」と「そぞろ歩き」です。

城崎温泉は、お客様を旅館の中に囲い込まないことで、小さな商店も商売が成り立つ考えの「共存共栄」の精神を大事にしている温泉街です。その精神を表す言葉が、『まち全体が一つの旅館』で、城崎では駅が玄関、通りが廊下、旅館が客室、外湯が大浴場、商店が売店と、温泉街全体が一つの旅館と捉え、住民が力を合わせ、まちづくりを行ってきました。

その中で、車椅子の方や高齢者の方などが「外湯めぐり」や「そぞろ歩き」をもっと楽しんでもらえるために、温泉街全体で工夫をしていくことが必要・課題であると感じています。

本エリア計画により事業を実施することで、城崎温泉が、日本で有数のユニバーサルツーリズムが体現された温泉地へと歩み出すと共に、すべての人がより楽しめる温泉街を実現していきたいと考えています。

(1) 実施団体

きのさきユニバーサルツーリズム推進協議会(以下、構成団体)

構成団体名	代表者の職氏名
一般社団法人 城崎温泉観光協会	代表理事 高宮 浩之
城崎町湯島財産区	管理者 豊岡市長 関貫 久仁郎
城崎温泉旅館協同組合	理事長 日生下 民夫
株式会社 湯のまち城崎	代表取締役社長 椿野 仁司
NPO 法人 ふろじえくと Plus	代表理事 衣川 勝海
一般社団法人 INCREW	代表理事 西田 紫乃
一般社団法人 豊岡観光イノベーション	理事長 二宮 秀生
社会福祉法人 豊岡市社会福祉協議会城崎支所	城崎支所長 河原 洋
豊岡市(事務局：城崎振興局地域振興課)	市長 関貫 久仁郎

(2) 取組み

- ・ 外湯(柳湯)の足湯バリアフリー改修
- ・ 外湯(地蔵湯)のエントランスバリアフリー改修
- ・ 駅と旅館を結ぶ巡回バス(福祉車両)の導入・運行
- ・ 外湯における新たなユニバーサルボトルの導入
- ・ ユニバーサルツーリズムヘルプサービス機能構築
- ・ まちあるくマップ作成
- ・ ユニバーサルピクトグラムの制作
- ・ 外湯の入浴支援備品購入 など

(3) 取組に係る事業費(申請時)

年度	事業費	うち県補助金	うち自己資金
令和6年度	820,000 円	410,000 円	410,000 円
令和7年度	35,596,960 円	12,712,000 円	22,884,960 円
計	36,416,960 円	13,122,000 円	23,294,960 円

3 兵庫県の報道発表

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr16/ut09.html>
